

☆ ボランティアさんの一言 ☆

「中秋の名月」とは旧暦8月15日の月のことで、今年10月6日(月)がその日になります。お団子にスキをお供えして丸い月を眺めるのもいいですね。

星空も10月になると「夏の大三角」がやや西に傾きだし、「秋の大四辺形」が頭上に来るようになります。月明りの無い夜には有名な「アンドロメダ銀河」が双眼鏡や肉眼で見ることができるようでしょう。

惑星は、輪を持った土星がみずがめ座にいて見ごろです。今年の土星の輪はとても細く、望遠鏡ではお団子に楊枝を刺したような姿が見えるはず。あと、海王星も土星の近くにいて天文台の30cm望遠鏡を使えば青い光の「粒」を確認できるかもしれません。

空気が澄んで星が良く見える季節なので、星座を探しながら夜空をゆっくり楽しんでください。(by KaMa)

開館時間：15：00～21：30

☆ 10月の見頃の時間は19:00ごろからです ☆

↓ 当日の天候はWeb、またはFacebook・X (Twitter) にて ↓



Web



Facebook



X



Instagram

#くらぶちこども天文台



くらぶちこども天文台
KURABUCHI KODOMO OBSERVATORY

〒370-3403 群馬県高崎市倉淵町水沼2930番 TEL：027-386-6837

※ お天気などご不安な点ありましたらお気軽にお電話ください ※

くらぶちこども天文台

2025★10月の星空

「○○の秋」なんてものがたくさんありますが、
「星空の秋」とはなぜか聞いたことがありません。
あっても良いじゃないかと思うのは私だけでしょうか？

6日に中秋の名月、21日ごろにはオリオン座
流星群の極大、いよいよ見ごろの土星！楽しい
星空Timeを、一緒に過ごしませんか？ \ (^_^) /



10月6日、月周辺の空。

今月の星座

北

西

東

南



Stellarium 0.19.0 / <https://stellarium.org/ja/>より

天頂より西側に下がった『夏の大三角』。それを追いかけて『秋の四辺形』が昇ってきました。いて座も山に隠れ、【やぎ座】【みずがめ座】【うお座】【おひつじ座】と、秋の星座が楽しめます。日没の時間には『土星』が地平線より出ているので、暗くなれば望遠鏡で導入できる高さとなります。

星空トピックス 『望遠鏡の日』

この一年も、あと残すところ3か月となりました。季節も10月となり、残暑も少しは落ちついてきたかと思えます。

さてこの10月、実は天体観測にかかせない望遠鏡についてのメモリアルデーがあるのはご存知でしょうか。

◇ 毎年10月2日は『望遠鏡の日』！

今から417年前の1608年10月2日、オランダの眼鏡職人ハンス・リッペルハイが望遠鏡の特許を申請したことが始まりといわれています。当時は、あまりにも単純な仕組みであるということから、特許を取得するには至らなかったものの、その発明はやがてイタリアのガリレオ・ガリレイに伝わり、天体観測を始めるきっかけとなりました。ガリレオはリッペルハイの発明をもとに、自ら改良した望遠鏡で月のクレーターや木星の衛星などを観察しました。人類が星空やその果ての宇宙を詳しく観るきっかけとなった出来事を記念して、この日を「望遠鏡の日」としています。